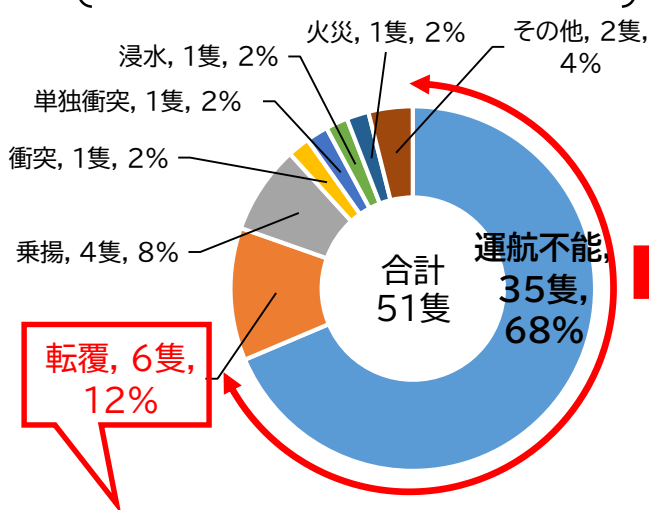


夏に釣りやクルージングを楽しむ方へ

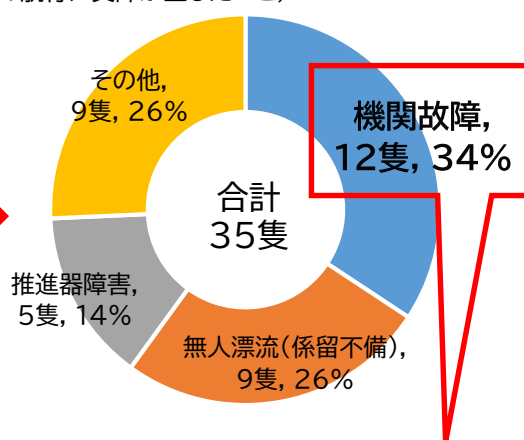
東北地方の夏季期間（6月から8月までの間）におけるプレジャーボートの海難は、**運航不能が最も多く、続いて転覆海難**となっています！【平成27年～令和元年】

〔 プレジャーボート船舶海難発生状況 (H27～R1/6月～8月(夏季)) 〕

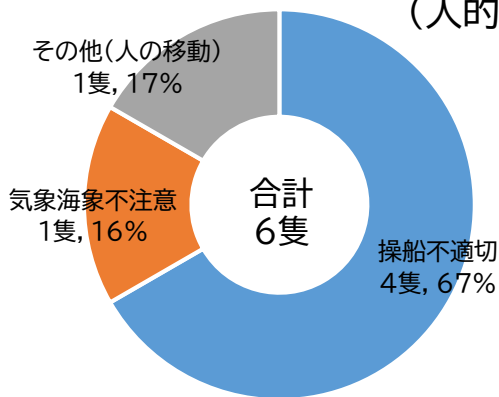


〔 運航不能の内訳 〕

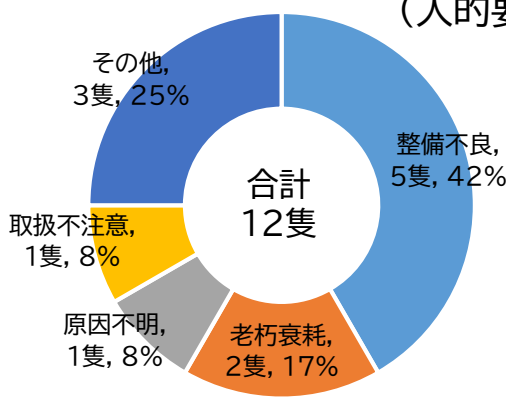
※運航不能とは(運航に必要な設備の故障、燃料等の欠乏等により、船舶の航行に支障が生じたこと)



★プレジャーボートの転覆原因 (人的要因)



プレジャーボートの機関故障原因 (人的要因)



・ 転覆についてはP3へ⇒

・ 機関故障についてはP2へ⇒

第二管区海上保安本部 海の安全推進室



宮城県塩釜市貞山通3-4-1
(代表) 022-363-0111
(直通) 022-365-9609

マリレよろず屋

検索

情報よろず屋URL>>> <https://www.kaiho.mlit.go.jp/02kanku/yorozuya/>

機関故障を防止するためには

【発航前検査と整備事業者による定期点検整備】

プレジャーボートの機関故障の原因は、**整備不良**、**老朽衰耗**が多くを占めています。過去5年間では、**バッテリーの老朽**、**燃料タンク内のごみ**、**燃料ポンプの故障等**、**発航前検査で認知できない原因**により、**海難が発生していることもあることから**、**発航前検査**のほか、**業者による定期的な部品交換や点検整備**が重要となります。



〔巡視船に曳航されているプレジャーボート〕

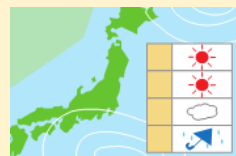


〔横抱き救助作業中の海上保安官〕

【発航前検査チェックリスト項目の覚え方】

【エンジン始動前の検査】

- 船体(せんたい)の状況確認
- ビルジ(びるじ)の量
- エンジンオイル(おいる)の量
- 冷却清水(せいすい)の量
- バッテリー(ばってりー)の液量
- 燃料(ねんりょう)の確認
- 燃料(ねんりょう)コックの開
- 燃料(ねんりょう)フィルター等のゴミ混入の有無
- 通信(つうしん)手段の充電量
- ライフジャケット(らいふじゃけっと)の着用
- 海象(かいしょう)・気象情報・水路情報の確認



【エンジン始動後の検査】

- 計器(けいき)類(回転計、冷却水温度計、油圧計等)の状況
- 冷(れいきゃく)却用海水の排出状況
- 異音(いおん)及び異臭



せんびおせばねねね(ね3)つらいかい けいれい

船尾おせば姉さん辛いかい エンジン始動後に敬礼



2 ※船の種類によって検査内容が異なります。
法定備品の搭載確認も忘れずに。

発航前検査の二次元コード→



プレジャーボートの転覆海難事例

【プレジャーボート転覆 男児死亡】

プレジャーボートに3名が乗船し、磯場で釣りをしていたところ、磯波を受けて転覆、3名が海に投げ出され、ボンデンに掴まり救助を待っていたところ、10代の男児が海水を飲み込み溺水し、命を落とすという悲しい事故が起きました。乗船者2名は携帯電話を所持していたが、水没し使用できなくなり、家族からの通報により、転覆発生から約27時間後に3名が発見されました。



〔プレジャーボートの救助作業を行う海上保安官〕



〔転覆状況(上空からの映像)〕

転覆を防ぐためには、どうすれば、よかったのかな？

魚を釣らせたいという気持ちで、磯場に近寄ったようだけど、磯波が立つ危険な海域には、近寄らないことが重要なんだ。どうしても近寄らなければならない場合は、船首を波に向け、舷側の正横から波を受けないように操船すれば、転覆のリスクを少なくすることができるんだよ！！

今回、全員助かるためには、どうすれば、よかったのかな？

全員がライフジャケットを着用していたことは正しいことだったんだけど、携帯電話を防水パックに入れていれば、直ぐに通報することができ、早期発見につながり助かっていたかもしれないね。また、異変があった時、家族がすぐに気づいてくれるように家族等との定時連絡を設定しておくことも大事だよ。

海難ゼロへの願い

2020 7/16▶31

海の事故ゼロキャンペーン

※海の事故ゼロキャンペーンとは、皆様に海難防止について感心を深めていただき、海難の未然防止を図るための運動です。

～ 命を守るため、
海難ゼロにするための
4つのお願い ～

1 ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保

(ライフジャケットの常時着用・連絡手段の確保・118番通報)

※ 平成30年2月1日から、原則、小型船舶の船室外に乗船するすべての者に国の安全基準への適合が確認されたライフジャケットを着用させることが、船長の義務となっています。

2 発航前等の点検の徹底

(発航前検査と業者等による定期検査)

3 見張りの徹底

4 荒天時における事故防止

(台風等の接近時には、早めの係留状況の確認及び固縛の強化、陸揚げ保管等の対策)



マリレ情報よろず屋
～バックナンバーはこちら～

海の安全情報スマホ版サイト
(沿岸域情報提供システム)

